慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	宮崎澄夫先生略歴；宮崎澄夫先生主要業績
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1991
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.64, No.3 (1991. 3) ,p.137- 141
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	宮崎澄夫先生追悼記事
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19910328-0137

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

宮崎　澄夫　先生　略歴

明治三六年　五月一〇日　東京府豊多摩郡井荻村（現・東京都杉並区善福寺）に出生
大正　九年　三月　私立目白中学校（旧制）第四学年終了
大正一五年　三月　慶應義塾大学法学部法律学科卒業
　　同年　四月　司法官試補
昭和　二年一二月　予備検事、大阪地方裁判所検事局・大阪区裁判所検事局勤務
昭和　三年一〇月　大阪地方裁判所兼大阪区裁判所検事
昭和　四年　四月　慶應義塾大学法学部助手兼講師―民事訴訟法担当
昭和　九年　一月　ドイツ、フランス及びイギリスに留学（一一年三月まで）
　　同年　五月　慶應義塾大学法学部助教授―民事訴訟法担当
昭和一二年一〇月　慶應義塾大学法学部教授―民事訴訟法担当、後に刑事訴訟法・刑法を併せて担当
昭和二五年　四月　慶應義塾農業高等学校校長を兼務（三一年三月まで）
昭和二九年　八月　法務省法制審議会刑事法部会委員（五四年九月まで）
昭和三一年　四月　慶應義塾常任理事（三五年六月まで）。その間、教授を兼担
昭和三七年　七月　法務省法制審議会刑事法特別部会委員（五〇年八月まで）
昭和三八年　九月　法務省法制審議会刑事法特別部会第四小委員会委員長（四六年七月まで）

昭和四五年　司法試験第二次試験考査委員（四五年度及び四六年度）
昭和四六年三月　慶應義塾大学定年退職
同年四月　創価大学法学部教授―刑法・刑事訴訟法担当
同年四月　慶應義塾大学名誉教授
昭和五〇年四月　創価大学大学院法学研究科教授に併任―刑法・刑事訴訟法担当
昭和六〇年四月　創価大学法学部特任教授
平成元年三月　退職
平成二年三月二九日　逝去

宮崎　澄夫　先生　主要業績

一　著　書

	発行年月	発行所または発表雑誌名
訴　訟　法	一九四一・八	ダイヤモンド社
調停法の理論と実際	一九四二・一	東洋書館
刑　法　総　論	一九五〇・四	東洋書館
刑　事　訴　訟　法	一九五〇・四	評論社
免　訴　の　裁　判	一九六一・二	有斐閣

二　論　文

民事訴訟法第七〇条に所謂裁判の効力を論ず	一九三二・一一	法学研究一一巻四号
既判力の主観的範囲について	一九三七・四	法学研究一六巻一号
訴訟条件	一九五三・二	有斐閣（刑事法講座五巻所収）
当事者適格	一九五四・六	有斐閣（民事訴訟法講座一巻所収）
訴の取下	一九五五・四	有斐閣（民事訴訟法講座三巻所収）
調停の理念	一九五六・八	有斐閣（民事訴訟法講座五巻所収）
犯罪の既遂と実行行為の終了	一九六〇・五	法学新報六六巻五号

刑の廃止の本質　一九六〇・一二　法学研究三三巻一二号
無差別没収における第三者の救済について　一九六二・一　民事訴訟法雑誌八号
判決の確定力　一九六二・一　有斐閣（刑事訴訟法演習所収）
免訴の裁判　一九六二・八　綜合法学五巻八号
親告罪における訴訟法上の諸問題　一九六三・九　有斐閣（刑事訴訟法講座一巻所収）
訴因・罰条　一九六四・三　有斐閣（刑事訴訟法講座二巻所収）
人の健康に係る公害犯罪の処罰に関する法律にいわゆる危険について　一九七一・四　創価大学開学記念論文集
公訴事実の同一性に関する若干の考察　一九七一・五　法務総合研究所研修
公害の刑事法的考察(一)(二)(三)　一九七一・四、六、八　法学研究四四巻四号、六号、八号
国家法益に対する犯罪処罰の憲法的基礎　一九七四・九　法律のひろば二七巻九号
民事訴訟法学と訴訟の現実　一九八〇・九　法律文化社（手続法の理論と実践上巻所収）
公訴事実と訴因との関係および公訴事実の同一性についての私見　一九八〇・一一　創価大学創立十周年記念論文集

三　解説、随想、その他

検察小話　一九三〇　法学会誌
ザウエル教授の訴訟法理論に就いて　一九三一　法学会誌四号
ザウエル教授の訴訟法理論に就いて(二)　一九三二　法学会誌五号
鑑定部創立五周年を迎えて　一九三三　法学会誌七号
ミュンヘンより　一九三五・三　三田評論昭和一〇年三月号
独逸の大学生　一九三六　法学会誌一三号

忘れ得ぬ一被疑者	一九三八　法学会誌一七号
訴訟法学会に出席の記(一)、(二)	一九三八・一一、一九三九・一　三田評論昭和一三年一一月号、昭和一四年一月号
将棋の村ストレーベックについて	一九三九　法学会誌一八号
非常時下に於ける人事調停(一)、(二)、(終)	一九四一・七、九、一〇　三田評論昭和一六年七月号、九月号、一〇月号
法学奨励委員会の活動に就いて	一九四二・一一　三田評論昭和一七年一一月号
捜査と公判との関係	一九五三　法学会誌二九号
農業高等学校	一九五二・二　三田評論昭和二七年二月号
藤巻時男君を表彰す	一九五四・二　三田評論昭和二九年二月号
未来社会と公害（座談会）	一九六〇・六　三田評論昭和四五年六月号
公害罪の制定	一九六一・一　三田評論昭和四六年一月号
三田法曹会と慶應義塾	一九八二　三田法曹会の五十年所収